

イギリス病を克服した教育改革

公教育では学校を選べず

教師も選択できない生徒が

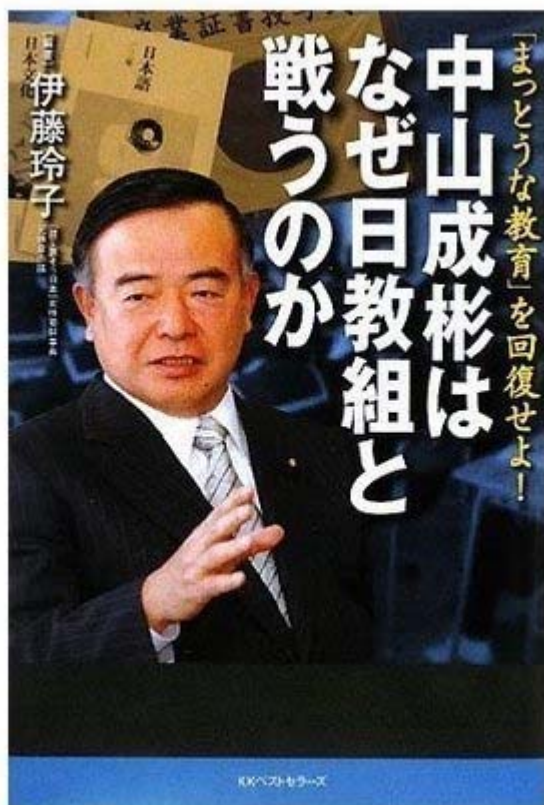
特定イデオロギーを押しつけられる

■「教師の自主性」■

1979(昭和54)年に登場したサッチャー保守党政権は、「イギリス病」克服のために、経済再建だけでなく、イギリス国民としての誇りと道徳の回復を訴えた。経済の低迷は単なる経済政策の問題ではない。自虐史観によって誇りを傷つけられ、宗教否定の教育によって道徳心を失った国民が、国家公共のために尽くそうという志をなくしてしまった結果である。

「人種差別はどのようにイギリスにやってきたのか」が発行されると、サッチャー政権は直ちにその使用を中止せよとした。ところが、1944年教育法においては、政府は学校で教えられるカリキュラムについては何らコントロールできず、各校はいかなる教科書を使うかを自ら決定し、それでどう教えるかは、教師自らが決めることができた。

1944年教育法の「教師の自主性を尊重する教育行政の確立」という柱は、まさに教師が自由にイデオロギー教育をするための布石だったのである。「教師の自主性」という美辞麗句の陰には、公教育では学校を選べず、教師も選択できない生徒が特定イデオロギーを押しつけられる、という人権無視がある。このあたりは、親が教師の教育内容に介入することは「アサハカな思い上がり」とうそぶいた日本の教師と根は一緒である。



■サッチャーの1988年教育改革法■

こうした状態に対して、サッチャー首相はこう訴えた。

国は子供たちが学ぶ内容をなおざりにするわけにはいかない。何といても彼らは将来の公民なのであり、われわれは彼らに義務を負っている。

国家が国民を搾取する権力機構であるとするマルクス主義的見方からすれば、教育は「教師の自主性」に委ねるべきものという原則が出てくるが、それは独裁国家でしか通用しない論理である。

民主主義国家とは国民が主権者として互いに力を合わせて運営していく共同体である。そこでの教育とは国民が選挙によって選んだ政府を通じて、自らの共同体にふさわしい能力と道徳、文化をもった次世代の国民を育てていく営みなのである。こう考えれば、教育とは「国家の義務」という基本原則の意味合いが明らかになる。

この基本原則から、サッチャーは「すべての公費維持学校（公立校）への教育権は教育大臣にある」で始まる1988年教育改革法を制定した。

この教育改革法では、まず「国語（英語）」「数学」「科学」を中心に「歴史」「地理」など基礎教育科目を定め、その内容を国が決定することにした。組合教師たちが自らのイデオロギーを教えるための隠れ蓑をしていた「総合学習」といった科目は排除した。

さらに、その内容がきちんと教えられているか、全国共通試験を実施し、生徒の学力到達度を測ることにした。目標に到達しない生徒を持つ教師と学校は、その責任を追及する仕組みを設定した。またイスラム教やヒンズー教を信仰するのは自由だが、イギリス国民としてその宗教的伝統であるキリスト教を理解する必要があり、これを必修科目として教えることとした。これらの改革から、イギリスの教育は劇的に変わっていく。

（伊勢雅臣、国際派日本人養成講座 N0375 H16.12.19 から抜粋 全文は http://www2s.biglobe.ne.jp/~nippon/jogbd_h16/jog375.html）

日本は植民地主義、人種差別終焉に大きな貢献

まるで今の日本の教育そのものではないですか。しかも私に言わせれば、イギリスは間違いなく帝国主義の中心的存在であり、世界の七つの海を支配し、白人キリスト教国家の侵略を象徴するような収奪型の支配をしてきた国です。アメリカ、カナダ、オーストラリア等々には自国民を移民させて現地人を虐殺、白人国家にしてしまったのは承知の通りです。

従って、自虐史観というよりも、実際に今の基準で言えば、散々「悪いこと」をしてきた代表格の国なのです。しかも、支配してきた国々に謝罪も賠償もしていないのですよ。そのイギリスですらサッチャー首相時代に「自虐史観」を克服したのです。

一方の日本はどうでしょうか？。実際は「悪いこと」などしていないのに、謝罪し賠償し、なおかつ今でも偽りの自虐史観から抜け出せないのが実情です。「この大戦（大東亜戦争）は植民地主義に終止符を打ち、白人と有色人種との平等をもたらし、世界連邦の礎石をおいた」（英国人作家H・G・ウェルズ）と、世界の多くの識者がその意義を認めているのに、肝心の日本人が「日本は悪いことをした」という刷り込みを今日に至るまで続けられています。

今は特定アジアとして「反日」を国是としている支那中共ですら、建国時の毛沢東や周恩来は「日本のお陰で我々は蒋介石国民党軍に勝てた」と何回も感謝しているという歴史的事実があります。支那中共のスタンスが「反日」に変わったのはあの無礼な江沢民からで、それも国内世論をまとめるガス抜きに利用しているだけなのです。



日教組問題究明議員連盟の第二回会合（阿比留さんのブログから）

消えた神奈川県教組の30億円疑惑

これは、戦後GHQが展開したウォー・ギルト・インフォメーション・プログラム (WGIP)、つまり江藤淳氏によれば「戦争への罪悪感を日本人の心に植えつける為の宣伝計画」という洗脳工作を日教組などがそっくり受け継いで戦後の日本の教育界を支配してきたことが原因です。

従って、中山成彬前国土交通大臣が職を賭して訴えた「日教組は教育のガン」という発言は核心をついています。昨年12月、20年来日教組と戦ってこられた伊藤玲子さんが『中山成彬はなぜ日教組と戦うのか』を出版されました(上の画像)が、前後して12月10日 自民党内に「日教組問題を究明し、教育正常化実現に向け教育現場の実態を把握する議員の会」(80名加入)が発足しました。

この日教組問題究明議員連盟(森山真弓会長)は去る12月25日に第二回会合をひらき、これを産経新聞と阿比留さんのブログ、そして週刊新潮も詳報しています。話題となったのは、(1)神奈川県教組が所属教員らから26年間にわたって主任教員手当を徴収し、2002年の残高が約30億円に上っていた、(2)03年度以降、その残高や使途が公開されなくなり、最近になって基金の一部が横浜市教組に移譲されている、などが元神奈川県教職員組合委員長の小林正氏が告発した、という内容です。

日教組をぶつつぶせ！

詳しくは阿比留さんのブログ(12月25日のエントリー)を見て欲しいのですが、私が言いたいのは今の民主党はこの日教組・自治労の主張がほとんど政策に反映されているとう事実、その危険性です。私の10月18日のエントリー「解放同盟は日教組の用心棒」で三宅博氏(八尾市議会議員)が述べていますが、日教組は反日革命・打倒天皇制を主張しているのです。

本日の産経新聞二面には、次回総選挙で民主党は297議席という「単独過半数が可能」という分析をしていると報道されています。冗談ではありません。参議院に続いて衆議院でも民主党を勝たせたら、日本弱体化の加速、日本解体への道をまっしぐらです。早速、在日朝鮮人に参政権を与える法案を通すでしょう。民主党はこうした国家の基本的な事は一切明らかにせず、官僚政治の打破、派遣法の改正など一般の国民受けすることだけを訴えて選挙を戦うつもりです。賢い良識ある日本国民は、騙されてはいけません！。

幸い、世の中の多くの人々は日教組の教育についてネガティブなマイナス評価をしています。次回の総選挙は是非とも「教育問題」を重要な争点として国民の審判を仰いで欲しいと思います。すなわち、日教組を支持する人は民主党に、日教組を拒否する人は自民党に、という判りやすい構図に持っていくべきです。万が一、それでも民主党が過半数を得たなら、これはもう「日本をあきらめるしかない」と覚悟を決めたいと思います。

教育問題を選挙の争点に

カテゴリ: [コラむ](#) フォルダ: [指定なし](#)   

コメント(8)

タグ: [イギリスの教育改革](#) [自虐史観](#) [日教組](#) [伊藤玲子](#) [中山成彬](#) [反日革命](#) [打倒天皇制](#)

コメント(8)

コメントを書く場合はログインしてください。



Commented by [花うさぎさん](#)
追記1 慎吾の時事通信1月2日号から

2009/01/03 16:51

ところで、[アメリカ](#)大統領選挙のキャッチフレーズに「経済だよ、馬鹿」(It's Econmy. Stupid!)というのがあります。[クリントン](#)が父ブッシュに対して選挙中投げかけたものです。

この同じ、キャッチフレーズの雰囲気、オバマとマケインの選挙にも漂い、オバマが勝ちました。

そして、このアメリカの一連の選挙結果を見て、我が国でも、「経済だよ、馬鹿」とやるのが選挙だという雰囲気が見られる。もっとも、我が国ではさらに矮小化されて「生活第一だよ、馬鹿」になっています。

そこで、私は申したい。「生活第一」のポスターを見る度に。「国防だよ、馬鹿」(It's National Deffence Stupid!)と。

そもそも世界の国防力を維持している[アメリカ](#)であるから「経済だよ、馬鹿」というキャッチフレーズが通用するのであって、国防力を考えることもなく、日本人が[北朝鮮](#)に拉致されているのを無視して救出できないでいて、何が「生活第一」か。

国防がなければ、国民の生活など木っ端みじんではないか。[北朝鮮](#)に拉致された国民の生活を考えてみる、と言いたい。

本年の課題は「国防」です。これが結論です。

この意味で、昨年秋以来、田母神前航空幕僚長の果たしている役割は重大で大きな意義があるのです。そして、国民が、その意義を理解していることこそが、国家再興への明るいバロメータです。

再び、言います。

「強い日本」、「明るい日本」、「誇りある日本」を作らねばなりません。

その着手点は、まず、「国防」そして「教育」です。

・う～ん、やっぱり共感するな～(^^)。



Commented by [湯煙の中一杯さん](#)
年明け初めてのコメントになりますので・・

2009/01/03 18:24

あけましておめでとうございます。

教育問題を選挙の争点としたいということについては、全く異論ありません。ただ時期が悪いかもかもしれないと感じます。不況下ではどうしても生活防衛的な主張に目が向きがちですから、教育問題だと有権者へ印象が薄くなりやすいのではないかと感じます。[民主党](#)はその辺も踏まえて、日教組関連の話には敢えて反論せずに無視を決め込んで、生活第一というバラマキ政策の主張に終始している感があります。

[自民党](#)は[民主党](#)が主張する政策の欺瞞を明らかにし、[自民党案](#)と[民主党案](#)の違いをクリアにしたほうが有権者への訴求力があるように感じます。



Commented by [花うさぎさん](#)
To [湯煙の中一杯さん](#)

2009/01/03 19:16

あけましておめでとうございます。

> 教育問題だと有権者へ印象が薄くなりやすいのではないかと感じます。

全くご指摘の通りです。

> [民主党](#)はその辺も踏まえて、日教組関連の話には敢えて反論せずに無視を決め込んで、生活第一というバラマキ政策の主張に終始している感があります。

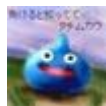
そういう[民主党](#)の姿勢をマスコミが糾弾してくれば良いのですが、現実には全く逆ですから。

> [自民党](#)は[民主党](#)が主張する政策の欺瞞を明らかにし、[自民党案](#)と[民主党案](#)の違いを

クリアにしたほうが有権者への訴求力があるように感じます。

2009/01/03 20:31

その通りですね。、問題はマスコミの報道姿勢でしょう。



Commented by **湯煙の中の一杯** さん

To 花うさぎさん

>その通りですね。、問題はマスコミの報道姿勢でしょう。

最近、マスコミに迎合するような内容や、マスコミが問題視しないであろう内容を主張し、マスコミを利用するのではなく、マスコミと対決することで様々な問題を表面化しなくてはならないのではないかと考えることがあります。

広告税と電波利用料の問題は、有権者のお金の使い道を実は考えていないマスコミの姿勢を表面化することもできます。マスコミと対決する姿勢を見せつつ、他の政策の主張をすることで、**民主党**との違いを叫ぶ・・・そうならばマスコミも自分にとって都合の良いことばかりを報道できないのではないかとマスコミが**民主党**をかばう余裕を無くす・・・そういう戦略が必要なのではないかと感じます。



Commented by **花うさぎ** さん

To 湯煙の中の一杯さん おはようございます。

2009/01/04 06:50

>マスコミと対決することで様々な問題を表面化しなくてはならないのではないかと考えることがあります。

共感します。WILL二月号に水島監督がアーサー・ブラウン氏(元CIA東アジア担当トップ)とのインタビューで、日本の政界・マスコミにたいする**中国**・朝鮮等の外国勢力の浸透度について質問すると、「完成にちかい」という水島氏の考えを肯定した、旨の記事がありました。

政治家もマスコミも大陸と半島に乗っ取られていると割り切れれば、我々も対応は変えないといけませんね。

>マスコミが**民主党**をかばう余裕を無くす・・・そういう戦略が必要なのではないかと感じます。

本当にそうですね。ではどうするか?がいま問われている重要課題でしょう。



Commented by **sakurara** さん

花うさぎさん、おはようございます。

とつても遅くなってしまいました(^-^);

あけましておめでとございます。今年もよろしく願います。

2009/01/07 07:54

イギリスも自虐史観に陥っていたというのは、田母神さんの『自らの身は顧みず』を読んで初めて知って驚いたところでした。

その本に、調査団(?)として、松原仁議員と古屋圭司議員の名前が出てらしたので嬉しく思いました。

ところで、くつきりさんがたけしさんが出演された番組のエントリを立ててらっしゃいました。とてもいい番組だったみたいです。私はテレビ絶ち(?)してたので見ませんでした(^ ^)。

「たけしの“教科書に載らない”日本人の謎」良かったです

<http://kukkuri.jpn.org/boyakikukkuri2/log/eid605.html>

動画

たけしの伊勢参り

<http://jp.youtube.com/watch?v=cz8-fY1zdUA&feature=related>

<http://jp.youtube.com/watch?v=7otHbcl1aEH0&feature=related>

それから今日の青山さんの「アンカー」注目みたいです。

青山さんは今今、お母様と**イギリス**滞在中で欠席ですが、3人の議員へのインタビューの

模様が放送されるそうです。

2009/01/07 08:26

http://blog.goo.ne.jp/shiaoyama_july



Commented by **花うさぎ** さん

To sakuraraさん

あけましておめでとうございます。

>ところで、くつきりさんがたけしさんが出演された番組のエントリを立ててらっしゃいました。

情報感謝です(^ ^)。

>それから今日の青山さんの「アンカー」注目みたいです。

私は東京ですで見られませんが、you tubeに[アップ](#)されるのをまってみたいと思います。楽しみです。



Commented by **花うさぎ** さん

・追記2

2009/01/07 08:35

「依存症の独り言」さんが年明けから過去の人気エントリーを再掲しています。

そのうち一番というのが「共産主義は何故破綻したのか(1)」です。ちょっと難しいのですが大変参考になるとと思います。一度ご覧になって下さい。

<http://banmakoto.air-nifty.com/blues/>